

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-102	小学校	家庭	家庭	第5・6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 504	わたしたちの家庭科 5・6		

1 編修の基本方針

—家庭科の学びを通して、持続可能な未来へつなぐ—

社会の変化や科学技術の進展の中で主体的に生きていくために、「自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けること」が重要です。

「家庭科」では、一人ひとりの児童が体験や実践を通して、できることを増やし、生活を工夫し、よりよい家庭生活につなぐことができることを目指します。

その過程で、児童が自分と家族の生活を見つめ、課題に気づき、生活の基本的な知識や技能を身に付け、さまざまな課題に取り組みながら、問題解決能力を培います。

また、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、教科の本質を生かして自立と社会参画ができるようにします。

本教科書では、家庭科の特質と教育基本法の目標を効果的につなげて、教育基本法第2条の目標が達成できるように、以下の方針のもとに編修しました。

編修方針

1

自分や家族の「生活」を見つめ、生活をよりよくしていく

ストーリーが見える構成

1 だれもが主人公であるために

教科書全体を通して、4人の小学生が登場します。現実の等身大の小学生と重ねながら、児童の経験を踏まえた、気づきや思考を引き出すことによって、**だれもが主人公である学習**ができます。

また、学習の案内役「クローバー」と「カラフルうさぎ」のキャラクターも登場します。児童の学習に寄り添い、興味と関心をもって、家庭科の学習に取り組めるようにしています。



2 生活の基礎・基本が身につく系統性のある配列とタイムリーな題材

小さいものから大きなものへ、平易なものから難しいものへと学習が系統的にできるよう、配列を工夫しています。初めて家庭科を学ぶ5学年は、**基礎・基本**がしっかりと身につくように、題材を細かく構成・配列し、**スモールステップ**で学習が積み上げられるようにしています。続く6学年は、5学年での基礎・基本をもとに、**計画的に工夫し、応用させながら生活に生かしていく力**が身につくようにしています。

◆食生活の学習の配列

←-----5学年想定-----→		←-----6学年想定-----→	
2	クッキング はじめの一步10	7	食べて 元気に48
	1 なぜ調理をするのだろう.....10		1 なぜ毎日食事を するのだろう.....48
	2 ゆでて食べよう.....14		2 ご飯とみそしるを作って 食べよう.....49
	3 ゆでておいしい 料理を作ろう.....18		3 日常の食事に生かそう.....56
2	できることを増やして クッキング88	7	こんだてを 工夫して118
	1 「ゆでる調理」と「いためる調理」 は何かちがうのだろう.....88		1 料理や食品をどのように 組み合わせて食べると よいだろう.....118
	2 いためる調理で おかずを作ろう.....89		2 1食分のこんだてを 立てよう.....119
	3 朝食を食べよう.....92		3 工夫して毎日の食生活に 生かそう.....122

◆寒いときには暖かい工夫ができる題材を、暑いときにはすずしい工夫ができる題材を配置して、**季節を体感しながら学習**ができるようにしています。

◆学校行事とのかかわりも考えた実習例や製作例などを取り上げ、時期も考慮して配置しています。

編修方針

2

個人の価値を尊重し、創造性を培う

キャリア教育との関連を重視

児童とキャリアをつなぐ、先輩からのメッセージ

●学習内容とつながる職業

衣・食・住の生活や消費・環境、地域の学習内容と密接につながる職業の方々から「**キャリアインタビュー**」の形で児童に向けたメッセージを掲載しています。さまざまなキャリアの方から、かかわっている職業の内容や取り組む姿勢を語っていただくことにより、いろいろな職業があること、仕事のやりがいを知るだけでなく、わたしたちの生活がいろいろな仕事によって支えられていることに児童が気づけるようにしています。

●持続可能な社会へとつながるキャリア

また、「**キャリアでつなぐ、持続可能な社会**」としてページを設けています。伝統を受け継ぎ未来につなげるもの、地球環境の維持・保全にかかわるもの、だれもが暮らしやすい社会を目指す共生にかかわるものなど、**キャリアがこれからの社会を持続可能なものとして「つなぐ」ものであることをメッセージから受け取れるようにしています。**



キャリアインタビュー

でんとう
伝統野菜作りに 取り組む人

こしづか ひろし さん 江都東京野菜の生産者

東京の畑を守り、伝えていく
東京都江戸川区でこまつな農家をしています。その昔、
将軍が江戸川区の小松川で青菜を食べ、その地名に
ちなんで「小松菜」と名づけたといわれています。

キャリアインタビューの一例

他者と協力しながら、

主体的に地域・社会へ参画する

児童が地域の一員として、他者と協力しながら、自分にできることを通して主体的に地域・社会に参画できるようにしています。

地域とつながる
わたしたち
地域へのかかわりと成長

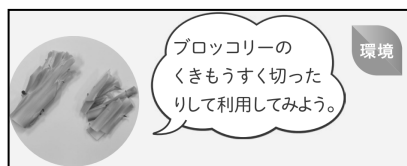
自然を大切にし、環境保全に取り組む

家庭科学習を持続可能な生活・社会につなぐ

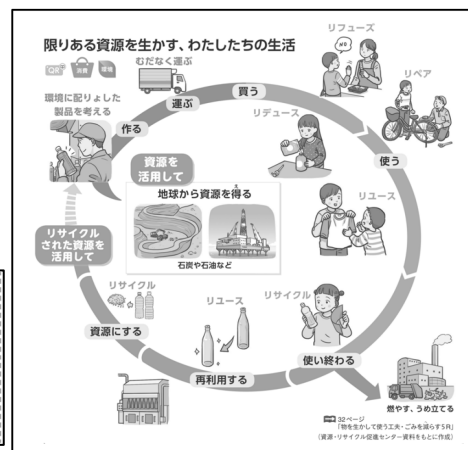
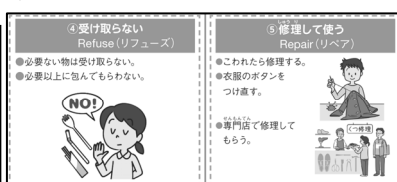
・身近なところから考え、自分たちができることから取り組める構成を工夫しています

・SDGsの目標とも関連させながら家庭科の学習を持続可能な社会に向けてつないでいきます。

▼19ページ



▼32ページ



▲133ページ

伝統・文化や他国の尊重

日本の風土の中で育まれてきた・各地の伝統的な生活文化を随所で示しています。また、他国の例も示し、国際的な視点への興味をもたせるとともに、他国の文化を尊重する心情を養うことができるようにしています。

▼77ページ
日本の伝統的なおやつ▼77ページ
日本や世界のほっとタイム

伝統文化を扱う箇所では、アイコンを付しています。

2 対照表

教育基本法第2条の目標の達成のために、以下の点で特に編修に意を用いました。

内容・構成		特に意を用いた点や特色	第2条との 対照	該当箇所
本文	共通事項	知識や技能の確実な習得のために、基礎・基本を重視し、段階的な題材を設定しました。	第1号	全般
本文	共通事項	日常生活の中でなぜそうするのか、という問いかけを設定し、生活を科学的にみて、幅広い教養を身に着け、真理を探究する態度を養うことをめざしました。また、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うよう、自分の考えを記入できるようにしました。各題材の学習の終わりには必ず創造性を培う活動場面を「生かす・深める」として設定しました。	第1号 第2号	全般
本文	毎日の生活を見つめてみよう できるよ 家庭の仕事 いっしょに「ほっとタイム」 生活時間をマネジメント 生活を支える物やお金 生活の課題と実せん	家庭生活に関する家庭や家族の大切さや消費生活に関する題材で、生活に必要な物を得るためのお金（収入）は、家族が働いて得られる限りある大切なものであることを記述し、家庭実践に結びつくようにしました。	第2号	8・9、34~37、58~65、 74~76、 80・81、84~87 頁など
本文	製作・実習 生活の課題と実せん	調理実習や製作では、児童の意欲を尊重し、つくりたいものを考えることを促しています。	第2号	18・19、26・27、 37、42~47、80~83、 93、113~117、123 頁など
本文 特設頁	キャリア教育のコラム (キャリアインタビュー)	職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いている方21名からのメッセージを関連該当箇所及び特設頁で紹介しました。	第2号	16、18、46、 64、76、93、 97、103、107、 108、121、130、 138、139 頁
本文	共に生きる地域での生活	地域の人びととともに協力して主体的に社会の形成に参画できるようにいろいろな事例を取り上げています。	第3号	126~131 頁
本文	共通事項	実習や活動を通して、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように写真やイラスト等にも配慮しました。	第3号	全般
本文	整理・整とんで快適に できることから始めて、持続可能な生活をつくる 持続可能な社会のために など	自然を大切に、環境を保全することの大切さに気付くことができるように、2つの題材と特設頁を設けました。また、持続可能な社会の構築の視点から、教科書全体にわたって環境への配慮の記述をしています。また、児童に環境にかかわる学習ポイントを示す環境マークや、キャラクターによる環境の視点を入れ、環境保全に寄与する態度を身につけることを目指しました。	第4号	30~32、78・79、 132~135 頁など
本文 特設頁	クッキング はじめの一步 食べて元気に 未来に伝えたい日本の伝統建築 暮らしの中の文化にふれてみよう など	伝統文化を示すマークを該当箇所に付しました。お茶や和食、郷土料理、伝統的な工芸品、建築技術などを取り上げ、日本各地の伝統文化の事例を充実させることで、我が国の独自の文化と先人の工夫に気付き、愛着をもつことができるようにしました。	第5号	11、19、48~57、 76、103、106、109、125 頁など
本文	いっしょに「ほっとタイム」 共に生きる地域での生活 生活の課題と実せん など	人とのふれ合いやかかわりを通して、感謝の気持ちを表わしたり、世代の異なる人や他国の文化など交流したりすることで、他者、他文化を尊重する大切さがわかるようにしました。	第5号	74~77、83、126~131 頁

3 上記以外に特に意を用いた点や特色

①ユニバーサルデザイン

- ・書体は視認性の高い**ユニバーサルフォント**を使用しています。
- ・多様な色覚を持つさまざまな児童に対して、**カラーユニバーサルデザインの観点**からデザイン、配色について色彩の専門家による検証を行っています。

②特別支援教育への配慮

- ・題材の配列は**1、2、3のスリーステップでの題材設定**を基本とし、**調理・製作の実習手順について横流れ**を基本としていずれも学習、手順の流れをつかみやすいようにしています。
- ・「**見てわかる**」を大切に**する巻末資料**で、利き手ごとの包丁の使い方、針と糸の使い方を示しています。また、**食品を切る大きさは実物大の資料**で大きさの感覚をつかめるようにしています。

③他教科・中学校の学習との関連

- ・他教科の学習を有機的につなぐため、関連する学習内容に【**関連リンク**】他教科での学習と関連する内容を設けています。
- ・「**2年間の学習を中学校につなげよう**」のページを設け、中学校の学習の概要、小学校での学習とのつながりが見えるようにしています。

④安全教育

- ・安全への配慮が特に求められる実習題材では、要所要所に**安全マーク**を付して、注意喚起を行っています。また、特設ページ「**安全と衛生に気をつけて実習しよう**」を設け、実習上の安全と衛生についていつも配慮できるよう情報をまとめています。



⑤防災教育

- ・防災に関する記事には**防災アイコン**を付しています。また、近年、増加する自然災害に対し、**災害発生前の準備、災害発生後の対応の観点**から特設ページを設けています。



⑥環境教育

- ・随所に**環境マーク**を付して環境学習への意識喚起を行えるようにしています。また、目次に**SDGs**を紹介し、題材中でSDGsのゴールについて考える課題を設けています。



⑦キャリア教育への取り組み

- ・さまざまな**キャリアをもった21人の方が**紙面に登場し、児童に向けたメッセージを掲載しています。



⑧ICT活用への取り組み

- ・動画、アニメーションをはじめとした学びを支えるコンテンツを**QR資料**として多数掲載しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-102	小学校	家庭	家庭	第5・6学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 504	わたしたちの家庭科 5・6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

基礎・基本を身につけ、自ら学び、自ら考えていくために

特色
1

授業の流れを3ステップで展開

〔1 気づく・見つける〕→〔2 わかる・できる〕→〔3 生かす・深める〕の3つのステップですべての題材を展開しています。

7 食べて元気に

食事

休養

運動

健康・快適・安全

生活文化

学習のめあて

- なぜ食事が必要なのかに気づく。
- ご飯とみそしるの調理ができる。栄養素の働きがわかり、食品のグループ分けができる。
- 毎日の食事にご飯とみそしるの調理をすることができる。

なぜ食事をするのだろう

題材のはじめ(題材下)の写真やイラストを活用して、これから学習する題材についての気づきや課題を見つけます。

2 ご飯とみそしるを作って食べよう

1 ご飯とみそしるは和食の基本

ご飯とみそしるは日本の伝統的な食事(和食)の基本となる主食とする物です。

わたしたちが主なる農作物で、はかいたて、によって体内でみそしるはつけたものです。

課題解決のための基礎的・基本的な技能を習得します

2 ご飯、しる物、はしの置き方

ご飯は茶碗に盛りつけておき、しる物は茶碗に盛りつけておき、箸は茶碗の横に置き、箸の持ち手は箸の先で握ります。箸の持ち手は箸の先で握ります。箸の持ち手は箸の先で握ります。

3 調べよう

あなたはどの3日間、どれくらいのご飯とみそしるの食事をとったのだろう。

3 生かす・深める

いろいろなおにぎりに工夫

ご飯とみそしるをどのようにして食べようか。ご飯とみそしるをどのようにして食べようか。ご飯とみそしるをどのようにして食べようか。

移り変わるご飯のたき方

ご飯のたき方や加熱・調理器具も昔から工夫されてきました。

生かす・深める

やってみよう！ わが家のみそしる作り

■材料

■作り方

■おわりに

小題材に対応した「学習のめあて」から、学習の見通しをもちます。

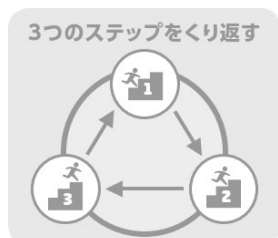
▲48・49ページ

▲56ページ

この題材ではたらかせる、生活の見方・考え方の4つの視点を示しています。

わかったことや、できるようになったことを共有し、生活に生かし、深めていきます。(学習指導要領イに該当)

3ステップのアイコンは、学びがステップアップするように表現しています。



主体的・対話的で深い学びの充実

児童が主体的・対話的で深い学びを通して、生活の中の課題に具体的に取り組み、課題解決に向けた深い学びができることを目指しています。以下は、具体的なしくみです。

▶20ページ

●児童が発表し合い、学び合える**学習の交流場面**を多く掲載しています。

▼76ページ



▲2ページ



▲27ページ



●個々の主体性を尊重して、児童の興味・関心を**自分の言葉で記述できるスペース**を設けています。

針と糸でぬえるようになったら、何を作りたい？

QR



●大題材ごとに、ステップ1、2の学習をもとに、**ステップ3で創意工夫して生かす・深める場面を設定**しています。

生かす・深める 生活快適プランー 日光、通風、自然の力、音などから考えよう

どうすればもっと快適に過ごせるかな？ 困っていることは何だろう。

例) Aさんの家では…	Bさんの家では…	Cさんの家では…	Dさんの家では…
カーテンを開けばなしにしているけれど…	エアコンをつけてはいるけれど…	窓が開かない！窓の前に物がごちゃごちゃ…	窓と戸を開けているから風も音もよく通るよ…

話し合おう

直射日光を入れないようにしたり、暑方を工夫したりできないかな。

部屋を片づけたら、風通しよくできるかもしれない。

わたしは朝起きたらカーテンを開けるよ。カーテンを開けないのはなぜだろう？

わたしの考えた工夫

▲108ページ

安全・衛生、防災や多様性への配慮

調理課題や製作での作業の安全を重視して、該当箇所に安全マークを付して具体的に留意事項を掲載しています。併せて特設ページも設け、一覧で確認できます。また、家庭や地域の安全・防災も日常生活から高められるように、特設ページを設けています。

▼142・143ページ

▼144・145ページ

安全と衛生に気をつけて実習しよう

家庭や地域の安全・防災 学びを生かし、支え合いながら過ごそう

安全・衛生や防災についてまとめています。児童の「なぜ？」に寄り添ったQ&Aでわかりやすく説明しています。

食物アレルギーに注意

食物アレルギーって何だろう
卵や牛乳などで、せきやしんなどのアレルギー反応が起きてもう人がいます。食物アレルギーがある場合には、ふれたりしてはいけない食品を知りましょう。

加工された食品にも注意
問から作られるマヨネーズ、牛乳から作られるアイスクリームなど、アレルギーが出やすい食品があります。

どんな食品でアレルギーが起きるかは、人によって異なります。友だちはそうでもないかもしれないんだ。

安全に、安心しておいしく食事をするために、大切なポイントだね。

▲17ページ

安全・衛生、防災に関する内容にはマークを付しています。特に食物アレルギーに配慮しています。

▼128ページ

年齢、性、障がいの有無、国籍などのバックグラウンドにかかわらず、**多様性を認め合いながら共に生きていくことを随所に示しています。**



▲1ページ



▲74ページ



多様性を表すキャラクターのカラフルさなども登場します

デジタルコンテンツと学習活動の一体化

教科書に掲載されている二次元コードを読み取って、タブレット端末やパソコンで動画を見たり、操作をしたりするなどして学習活動との一体化をはかっています。



動画コンテンツ…調理の手順や製作の手順や実験・調べ学習等、ていねいに映像化しています。



活動コンテンツ…調べたり話し合ったり考えたりしたことを記録できるワークシートなどを多数収録しています。



資料コンテンツ…学習内容を補完する参考実習例や製作例、統計資料などを収録しています。

インターネットから参照できる資料

QRマークがあるところは、インターネットを活用した学習ができます。この教科書では、いろいろな動画や資料などのコンテンツがあります。もっと知りたいな、と思ったときには下記も参照してみましょう。

QR	ガスこんろの点火、消火	11
QR	手の洗い方	12
QR	はかりの使い方	12
QR	計量スプーンの使い方	12
QR	青菜のゆで方	14
QR	ゆでいも	14
QR	ほうちょうの持ち方・しせい	15
QR	ほうちょうの洗い方	15
QR	糸を通す	22
QR	玉結び・玉どめ	22
QR	なみぬい・本返しぬい・半返しぬい・かがりぬい	24
QR	二つ穴ボタンのつけ方	24
QR	ミシンの下糸のかけ方	40
QR	ミシンの上糸のかけ方	41
QR	まち針のとめ方	43
QR	アイロンの安全な使い方	46
QR	ご飯のたき方	50
QR	みそしる	52
QR	買い物の意思決定	60
QR	開度計の使い方	71
QR	換気	72
QR	ほうきの使い方	96
QR	考えよう これからの生活	133
QR	切り方	148

取り上げているコンテンツの例です。

▶153ページ

持続可能な社会へ向けて

SDG s と関連させた環境学習の充実

全世界共通の喫緊の課題である持続可能な社会の構築のために、家庭科で取り組むことを具体的に示しています。スモールステップをふみながら、持続可能な生活・社会に向かって、身近なところから環境への取り組みができるように、5年と6年に分けて掲載しています。

▶138ページ

キャリアインタビュー

子どもたちの居場所づくり

快適に住める住まいの設計

西村 圭さん 一級建築士

マンションの設計をしてみると、マンション全体の戸数や、それぞれの部屋数や部屋の数などを考え、また、一人で住むのか、家族で住むのか、どのような設計図面の作成

話し合おう

持続可能な社会を地球全体で支えるために、17の目標（SDGs）が示された。下のマークにはどのような意味があるのだろうか。調べて話し合ってみよう。

2ページ

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

▲134ページ

9 持続可能な社会のために

▲132ページ

できることから始めて、持続可能な生活をつくる

絵を見て想像してみる自然環境

下の絵は、小学生がわたしたちを取り巻く自然環境を想像して描きました。2枚の絵にはどのような違いがありますか。

▲78ページ

5・6年生が取り組める活動に直結するように、内容・配列ともに工夫しています。

教科書の特徴

内容の選択・扱い・系統性	各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な内容の学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿っており、教科の特徴が無理なく具体化されている。
内容の組織・配列・分量	- 各学年のテーマの下、ストーリー性を考慮した題材配列がなされ、見通しや目標をもって学習できる。 - 題材の組替えもしやすく、地域や学校事情等に適合した使い方ができる。 - 家庭生活や家族の題材が各学年の最初にあり、いずれも生活を見つめ直すことから学習を始めることができる。 - 衣食住の題材は易から難へと、さらに季節等を考慮して配列され、最終題材には他者との共生、持続可能な社会の構築につながる題材が配置されている。 - 調理実習を早期に設定して興味づけを図り、学校行事や総合的な学習との関連が図れるように、「ご飯とみそ汁」の調理が5学年に配置されている。 - 実習と座学の内容は、いずれも分かりやすく工夫して配分されていて、組織及び分量は極めて適切である。
主体的な学習への取組	- 各題材は「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して創意工夫する力を養う「生かす・深める」の活動が設定されていて、最後には「ふり返ろう・生かそう」で家庭実践につなげるように工夫されている。学習過程では「できたかな」チェックなども取り入れ、児童が主体的に無理なく学習を進めるためのいろいろな配慮がされている。 - 導入時や学習過程で「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」等の課題が適切に配置されている。特に交流しながら課題に取り組む場面が随所に設定されている。 - 課題解決の手掛かりとなる例示や写真・図表・イラスト等が、過不足なく適切に記載されている。 - 分かりやすい各種のマーク（p.5）が設定され、さらに、児童に親しみやすいキャラクターが学習案内をしたり、つまずきやすい箇所では注意を喚起したりするなど、児童が課題意識をもって主体的に学習するための支援が適切になされている。 - 長期休暇や学校行事を利用し取り組む「生活の課題と実せん」は、課題設定から実践の評価とその改善策に至るまでの5つのステップと具体例を示しながら、児童が主体的に取り組むことができるように工夫されている。
安全・防災教育への対応	- 家庭科での安全・防災について、基本的事項が学習過程で随所に示されているとともに、巻末の頁に設定してまとめられている。 - 作業上の事故防止や安全・防災教育についての細かい配慮が行き届いている。
伝統文化に関する記述	「和食」や「一汁三菜」にも触れられており、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている（例：雑煮、おせち料理、各地に伝わるみそ料理ほか）。 「ふるしき」や「さき織」、「風鈴」など、受け継がれている生活文化が多数示されている。
家庭科における生活の見方・考え方	- 各題材の学習の始めに示されているので、題材を通しての見方・考え方を意識化して学習に取り組める。 - 学習の途中にはキャラクターが見方・考え方のアイコンを持って登場することで、見方・考え方を働かせるための手助けとなっている。
持続可能な社会の構築に向けた取組	2学年間の境には「できることから始めて、持続可能な生活をつくる」（78・79ページ）で学習を振り返るとともに、SDGsにつながる活動を取り上げている。 - 最終題材である「持続可能な社会のために」（132～135ページ）では、身近な生活から児童が主体的に取り組めるように工夫されている。
キャリア教育の取組	家庭科に関係する仕事や取組を行っている人物を幅広く紹介している。 - 題材中に紹介するだけでなく、持続可能な社会につながる取組を行う人物に特化したページもあり、児童が意欲をもって学習に取り組める工夫がされている。
特別支援教育や人権への対応	- 調理や製作の実習ページでは横流れの紙面となっているので、発達特性に合った構成となっている。 - 幼児や高齢者など様々な世代の人や性、障がいの有無、国籍に関わらない多様なバックグラウンドをもつ人と関わりをもつことで、多様性を認め合いながら共生の視点に気付けるように配慮されている。
教育のICT化への対応	- 二次元コードから読み取る学習コンテンツが全体的に配置されている。 - 動画や学習カードなど学習に有用なコンテンツが豊富にそろっている。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
生活を見つめ、 できることを増やしていこう	学んで変わるよ わたしたち この教科書の見方・使い方、もくじ	A(1)ア	表2～7ページ	1
	1 毎日の生活を見つめてみよう	A(1)ア	8・9ページ	1
	2 クッキング はじめの一歩	B (1) ア B (2) ア、イ	10～19ページ	8
	3 ソーイング はじめの一歩	B (5) ア、イ	20～27ページ	8
	4 整理・整とんで快適に	B (6) ア、イ C (2) ア	28～33ページ	4
	5 できるよ家庭の仕事	A (2) ア、イ	34～36ページ	2
	レツツライ！生活の課題と実せん	A (4) ア	37ページ	(2*)
	6 ミシンで楽しくソーイング	B (5) ア、イ	38～47ページ	11
	7 食べて元気に	B (1) ア B (2) ア、イ B (3) ア	48～57ページ	11
	8 生活を支える物やお金	C (1) ア、イ C (2) ア	58～65ページ	6
	9 着方の工夫で快適に	B (4) ア、イ	66～69ページ	3
	10 暖かい住まい方で快適に	B (6) ア、イ C (2) ア	70～73ページ	3
	11 いっしょに「ほっとタイム」	A (3) ア、イ	74～77ページ	2
できることから始めて、持続可能な生活をつくる		C (2) ア、イ	78・79ページ	
生活の課題と実せん例		A (4) ア	80～83ページ	2*
工夫して生活に生かそう	1 生活時間をマネジメント	A (2) ア A (3) ア、イ	84～87ページ	3
	2 できることを増やしてクッキング	B (2) ア、イ B (3) ア	88～93ページ	8
	3 クリーン作戦で快適に	B (6) ア、イ C (2) ア	94～97ページ	4
	4 衣服の手入れで快適に	B (4) ア、イ C (2) ア	98～103ページ	4
	5 すずしい住まい方で快適に	B (6) ア、イ C (2) ア	104～109ページ	4
	6 ソーイングで生活を豊かに	B (5) ア、イ	110～117ページ	11
	7 こんだてを工夫して	B (1) ア、イ B (2) イ B (3) ア、イ	118～125ページ	10
	8 共に生きる地域での生活	A (3) ア、イ	126～131ページ	5
	9 持続可能な社会のために	C (2) ア、イ	132～135ページ	3
2年間の学習を中学校につなげよう			136・137ページ	1

*2年間で2時間となるように柔軟に対応している。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-102	小学校	家庭	家庭	第 5 ・ 6 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	家庭 504	わたしたちの家庭科 5 ・ 6		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
65	「エシカル(倫理的な)消費」って何だろう	1	C(1)イ	0.25
77	日本や世界のほっとタイム	1	A(3)イ	1
109	未来に伝えたい日本の伝統建築	1	B(6)ア(ア)	1
123	目玉焼き	1	B(2)ア(ウ)	0.25
合 計				2.5